

学校概要

創立 38 周年	学校長 志田 一彦	副校長 岡崎 陽子	学期 2 学期制	児童・生徒数 341 人
学級数 一般級: 12 個別支援級: 3			主な関係校: 汐見台中学校 岡村中学校 藤の木中学校	

学校教育目標

自分のよさに気づき、相手の気持ちを大切にしながら、ともに高めあって生きる。
 【知】自ら課題を見つけ学びを深める子どもを育てます。
 【徳】友達のよさや自分のよさを認め思いやりのある子どもを育てます。
 【体】心と体を鍛え自分や人の生命を大切にすることを育てます。
 【公】地域の理解を深め共に生きることのよさを実感できる子どもを育てます。
 【開】様々な人とのコミュニケーションを通して社会への視野を広げる子どもを育てます。

学校の特徴

- 住宅地であるが、大きな公園なども近くにあり、緑も多く残っている地域である。
- 保護者や地域との連携を図りながら、教育活動を推進している。
- 真面目で熱心な教員が多く、日々の授業や教育活動に意欲的に取り組んでいる。
- 子どもたちは、真面目で言われたことはきちんと行うことができる。また、あいさつもきちんとできる子が多い。
- 学力面では、計算技能や、漢字の書き取りなど更に基礎的な学力の定着を図る必要がある。

学校経営中期取組目標

- 学校教育目標を実現するために、全教職員が学校経営に主体的に参加し、子どもたちにとって魅力ある学校、保護者・地域に信頼される学校づくりを目指します。
- ・一人ひとりの子どもが、集団で学ぶことの楽しさを味わいながら主体的に学ぶことができる授業づくりを推進し、学力の向上を図ります。
 - ・児童理解を深め、一人ひとりの子どもが安心して学校生活をおくれる体制作りを進めます。
 - ・豊かな心と健やかな体を育成し、よりよく生きていくことができるよう、指導や活動の充実を図ります。
 - ・家庭、地域と連携し、まちとともに歩む学校づくりを進めます。

小中一貫教育の取組

汐見台中	ブロック	： 汐見台中学校 汐見台小学校 浜小学校 山王台小学校
9年間で育てる子ども像	自らの可能性を追求し、主体的に考え行動する子ども 互いの心を大切にし、学び合い、高め合う子ども	
自校の具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「豊かな心の育成」をブロック共通のテーマとして設定し、年2回の小中合同授業研究会を通してテーマに迫っていく。 ・道徳の時間を核として全教育活動を通して「豊かな心」を育てていく。 ・アクティブラーニングを取り入れた授業を通して、主体的に考え行動する子どもを育てる。 	

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力 担当 評価委員会	学習の基礎・基本を定着させることに重点を置くとともに、身につけた基礎・基本を主体的に問題解決していく中で表現力の育成を目指す。	①問題解決学習を重視し、課題への見通しを持たせながら、個に応じた指導の工夫を行う。 ②朝スタ・学校図書館などを有効的に使って語彙を増やしたり、学習の定着を図ったりする。 ③各教科において、自分の考えに理由をつけて、自分の言葉で表現する時間を設定する。
豊かな心 担当 人権委員会	道徳を核として、命を見つめ、自他を大切にすることを育て、よりよい人間関係を築いていく。明るく礼儀正しい挨拶ができる子どもの育成を目指す。	①年間を通して挨拶運動に取り組み、相手に対する思いやりの心を持ち、自分に自信をもって生きる子どもを育てる。 ②縦割り活動を充実させ、異年齢同士の繋がりを築くようにする。 ③道徳を核として、命を見つめ、自他を大切にすることを育てるとともに、見通しをもったカリキュラムの整備を進める。
健やかな体 担当 体育部	規則正しい生活を送るために、基本的な生活習慣を見直し実践できる取り組みをする。また、一校一実践運動を継続的に取り組み、体力の向上を目指す。	①保護者の理解を得ながら「早寝早起き、朝ごはん、歯みがき」などの基本的な生活習慣に関する指導を行う。 ②一校一実践として「縄跳び」に取り組む。短縄や長縄をクラスや個人で取り組み、体力向上を目指す。 ③栄養士と連携しながら学校全体で食育に関する共通理解を図る。
児童指導 担当 児童指導委員会	小学校6年間を通して全職員が共通した指導を行う。話合いの場面を大切に、お互いの思いを理解し合いながら、学校生活を送ることを目指す。	①全職員が「山王台小スタンダード」を共有して指導に当たる。子どもたちには「学校のきまり」として分かりやすい表現に直し周知を図る。 ②職員会議や児童理解の全体会での話し合いを通して、全職員で子どもたちの実態を共通理解する。 ③学級内の話合い活動を充実させ、自分の考えや思いを伝えたり友達の意見を聞いたりする機会を多く取り入れる。
安全管理 担当 防災防犯指導部	全職員が山王台小学校防災計画・学校の防犯マニュアルに基づき、災害発生時や学校事故等の緊急事態発生時に適切で迅速な対応ができるようにする。	①避難訓練等において、全児童が「命を守るのは自分自身」という意識をもてるよう、事前指導・事後指導の時間を確保し指導を行う。また、綿密な実施計画の作成、打ち合わせの実施等により全職員の共通理解の徹底を図る。 ②児童が安全に学校生活を送ることができるよう職員の安全への意識を高め、安全に関する研修を計画的に行う。
地域連携 担当 地域連携担当	保護者・地域のサポートを生かし、開かれた学校づくりに努める。学校づくり懇話会や学校説明会等で学校の教育方針について理解を得られるようにする。	①懇話会のメンバーの方々をはじめ、地域・保護者の方々との信頼関係をまち懇や学校説明会、個人面談、子どもへの日頃の指導等を通してより一層深める。 ②地域防災訓練への職員参加やクリーン大作戦等の活動を通じて、児童と職員が地域に働きかけられることについて考える。 ③学援隊の方や、クラブ活動におけるまちの先生とのつながりを大切にする。
いじめに関する項目 担当 児童指導委員会	児童一人ひとりが受け入れられていると実感することができる受容的な環境をつくる。児童一人ひとりを多面的にとらえるための組織体制を整備する。	①「子どもの社会的スキル横浜プログラム」などを活用し、社会性を育てる。また、児童が自らどのような行為がいじめに繋がるのかを考え学ぶ機会を設定する。 ②児童支援専任を中心に、学年や低中高のブロックなど、連携を密にしながら児童の指導や支援にあたる体制を整える。 ③児童の様子などを保護者の方と共有する機会を設ける。
人材育成・組織運営 担当 メンター研担当	重点研究、校内研修等を通して教職員の専門性の向上を目指すとともにメンターチーム研を通して経験年数の浅い教職員の授業力等の向上を図る。	①校内研修を計画的に実施し、児童指導、いじめの早期発見、危機管理対応能力、人権に対する意識など学校に求められる教職員の力量を向上させる。 ②校内重点研究を充実させ、教師一人ひとりの授業力、指導力を向上させる。 ③メンターチーム研を充実させ、メンバーの授業力・指導力の向上を図るとともに、ミドルリーダーの育成を図る。